

令和 4年 4月21日

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

(あて先) 京田辺市議会議長

申請者

NEXT京田辺 菊川和滋 印

京田辺市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第5条の規定により、次のとおり提出します。

〔収 入〕

(単位：円)

科 目	本 年 度 決 算 額	備 考
交 付 金	720,000円	
合 計	720,000円	

〔支 出〕

(単位：円)

科 目	本 年 度 決 算 額	備 考
調 査 研 究 費	0円	
研 修 費	0円	
広 報 費	191,469円	
広 聴 費	0円	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0円	
会 議 費	0円	
資 料 作 成 費	0円	
資 料 購 入 費	83,149円	
人 件 費	0円	
事 務 所 費	55,552円	
合 計	330,170円	

収 支 差 引 残 額	389,830円
-------------	----------

【政務活動費支出明細表】

政務活動費 支出明細表

会派名 NEXT京田辺

令和3年度

月日	支出科目	摘 要 欄	支出金額
		品目名	
4月26日	資料購入費	洛タイ新報4月分	1,250
4月28日	資料購入費	公明新聞4月分	1,887
5月26日	資料購入費	洛タイ新報5月分	1,250
5月28日	資料購入費	公明新聞5月分	1,887
6月5日	資料購入費	書籍「取材・執筆・推敲」	3,300
6月9日	事務所費	消耗品：インク、ラベルシール	5,678
6月14日	資料購入費	洛タイ新報6月分	1,250
6月28日	資料購入費	公明新聞6月分	1,887
7月14日	事務所費	消耗品：インク	5,402
7月22日	資料購入費	書籍「実践行動経済学」「希望の未来への招待状」	4,620
7月26日	資料購入費	公明新聞7月分	1,887
7月26日	資料購入費	洛タイ新報7月分	1,250
8月14日	資料購入費	洛タイ新報8月分	1,250
8月21日	資料購入費	書籍「シン・ニホン」	2,640
8月26日	資料購入費	公明新聞8月分	1,887
9月4日	資料購入費	書籍「保守ってなに？」「これからの生き方と働き方」「リーダーの挫折力」	5,665
9月18日	資料購入費	書籍「仕掛学」「JAPAN」	4,378
9月27日	資料購入費	洛タイ新報9月分	1,250
9月29日	資料購入費	公明新聞9月分	1,887
10月14日	資料購入費	洛タイ新報10月分	1,250
10月26日	資料購入費	公明新聞10月分	1,887
10月27日	資料購入費	農業新聞 令和3年4月～令和4年3月分	8,400
11月8日	事務所費	消耗品：インク	5,402

月日	支出科目	摘 要 欄	支出金額
		品目名	
11月14日	資料購入費	洛タイ新報11月分	1,250
11月26日	資料購入費	公明新聞11月分	1,887
12月1日	事務所費	消耗品:インク、用紙、マガジンボックス	11,330
12月14日	資料購入費	洛タイ新報12月分	1,250
12月24日	資料購入費	公明新聞12月分	1,887
1月13日	資料購入費	書籍「イギリスの政策と議論に学ぶ」「明日、学校に行きたくない」 「公共図書館を育てる」「物価とは何か」	8,745
1月14日	資料購入費	洛タイ新報1月分	1,250
1月27日	資料購入費	公明新聞1月分	1,887
2月14日	資料購入費	洛タイ新報2月分	1,250
2月23日	資料購入費	書籍「1分間ピケティ」「ハーバードの心理学講座」	2,807
2月25日	資料購入費	公明新聞2月分	1,887
3月12日	資料購入費	書籍「権力は腐敗する」「マッキンゼーが読み解く食と農の未来」 「美しく強く成長する国へ」	4,950
3月22日	広報費	会派活動報告ビラ印刷アスクール(株) 20,000部×@5.3291	118,076
3月24日	広報費	新聞折込読売センター京田辺	9,900
3月24日	広報費	新聞折込読売センター松井山手	13,860
3月24日	広報費	新聞折込毎日サンケイ新聞大住販売所	11,880
3月24日	広報費	新聞折込京都新聞京田辺市販売所	16,088
3月24日	広報費	新聞折込ASA京田辺	8,250
3月24日	広報費	新聞折込(株)アクセス松井山手営業所	9,455
3月25日	広報費	新聞折込京都新聞三山木販売所	3,960
3月25日	事務所費	消耗品:インク	10,236
3月26日	事務所費	消耗品:ファイル、ボールペン等	17,504
3月27日	資料購入費	公明新聞3月分	1,887
3月30日	資料購入費	洛タイ新報3月分	1,250

月日	支出科目	摘 要 欄	支出金額
		品目名	

※政務活動における研修費にかかる報告、調査研究費にかかる視察報告、要請・陳情活動費にかかる報告書、資料購入費における資料、政務活動費を使った作成物（議会報告ビラ等）については、別途、資料も公開しております。

合計金額	330,170
------	---------

NEXT 京田辺



こんにちは。4名の構成議員でがんばるNEXT 京田辺です。

私たち会派では「現場主義」「市民参加」「会派内議論の徹底」をモットーに、市民生活に根差した活動に日々取り組んでおります。新型コロナウイルス感染症による社会への影響が続く中、感染症に対する対応を行いつつ、自然豊かで住みやすい本市のさらなる発展に向け、取り組みを進めてまいります。具体的には、

- ・コロナ禍で顕在化した課題（医療機関との連携、デジタル化の推進）への対応
- ・本市と区・自治会の連携による安全安心なまちづくり
- ・次世代を担う子どもたちへの積極的支援
- ・効果的・効率的な行政運営を目指した行財政改革の推進
- ・市の成長の基礎となる自主財源増につなげる取り組み強化
- ・世代を問わない健康増進への取り組み等による健康寿命の延伸

これらの課題への対応が必要だと考えます。

本年、市政25周年を迎える中、引き続き皆さまとともに力強く取り組んでまいります。

NEXT 京田辺重点政策

防犯・防災

- 内水・排水困難地対策
- 見守りカメラ設置
- 避難場所となる学校体育館への空調設備導入
- 災害ボランティア基金の創設
- マンホールトイレ等避難時に必要な設備の設置と備品倉庫の充実
- 調整池や河川・ため池の浚渫
- 道路・歩道の安全対策と早期改修

成長戦略

- 府所管の南田辺西地区開発促進と河川・道路の同時整備
- 企業誘致の更なる推進による市税増収
- 企業版ふるさと納税の促進
- 北陸新幹線進捗状況の積極的な情報公開
- 「ゼロカーボンシティ宣言」に基づく、積極的な計画策定
- 産官学が連携したまちづくりの推進

子育て・教育

- 子育て支援課と輝くこども未来室との連携強化
- フォトスクリーナーの導入（3歳児検診時の視覚検査）
- 子育て不安の解消に向けた取り組み強化
- 「カムバック京田辺」を合言葉に転入時補助制度の創設
- 中学校生徒数偏在への対策（小・中一貫校や特認校制度など）
- 不登校児童・生徒のケアの充実
- 幼保連携型認定こども園早期着手と小規模保育所導入支援
- 療育支援策の充実
- プレイパーク事業への研究

行政改革

- 公共施設マネジメントによる老朽化施設への対応強化
- 学校教育施設の改修計画促進と運用の検討
 - ・小学校給食室老朽化対策への検討
 - ・小学校プールのあり方検討
- デジタル活用による電子申請の推進
- ワンストップ窓口の強化
- 福祉施設長寿命化計画策定における市民ニーズに基づく複合型施設等の検討
- 基金運用と部局別歳計現金の管理方法の検討
- 庁内各部局の定型業務におけるAI、RPAの積極的な活用
- 保育料、給食費等の早期公会計化
- 施設利用料金のキャッシュレス決済の導入

福祉

- 重層的支援体制の確保に向けた総合支援事業の拡張
- 農福連携事業の支援（障がい者雇用の場の拡充）
- 民間事業者も含めた、高齢者「スマホ教室」の実施拡大
- 地域公共交通の活性化に向けた積極的な取り組み
- フレイル予防に対する各部局と連携した取り組み
- ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりの推進

産業振興

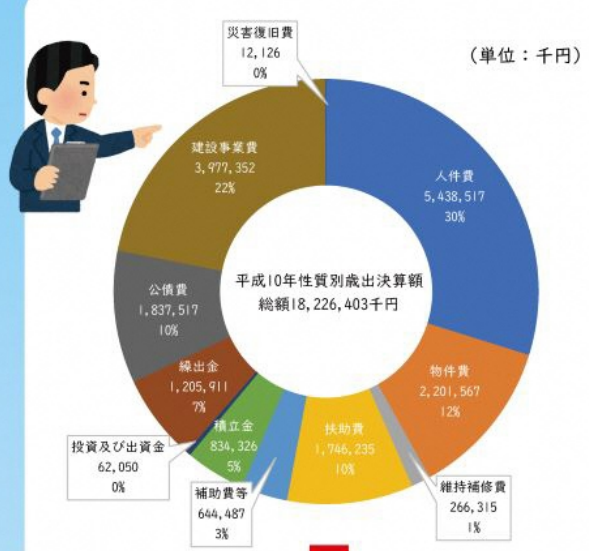
- 特産品の開発出荷支援強化
- ネーミングライツの活用により支出の縮減を図るとともに、地元企業のイメージアップへの取り組み
- 農業支援の強化・耕作放棄地対策の強化

文化・スポーツ

- スポーツに親しみやすい環境づくり
- 中央公民館に代わる、魅力ある文化振興拠点の早期設置
- 市内史跡などを活かした文化歴史を育む環境づくり

職員の働き方改革

- 専門技術者の体制確保とメンテナンス費用への配分強化（水道・土木・建設技術者など）
- 定年延長を見据えた、人的配置と職員のやりがい醸成
- 地域活動支援として経験豊かな定年退職者再雇用制度の導入
- 庁内提案制度の更なる活性化と、優秀な提案を活かす組織



性質項目説明

扶 助 費：生活保護、児童福祉費、社会福祉費
物 件 費：人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の支出
補 助 費：決算統計上の分類で、報償費のうち報奨金及び賞賜金、役務費のうち保険料、物件費に計上されない委託料、負担金補助及び交付金、公課費
公 債 費：地方自治体が借り入れた地方債の元利償還費と一時借入金の利息の合計
維持補修費：地方公共団体が所有する施設の効用を保全するために実施する補修に要する経費
建設事業費：道路、橋梁、学校、庁舎等公共又は公用施設の新増設等の建設事業に要する経費
繰 出 金：地方公共団体の一般会計から、介護保険事業会計・国民年金保険事業会計・地方公営企業会計（水道事業等）等に対して繰出される負担金

20年間の推移

扶助費 約3.4倍に増加
公債費 約1.2倍に増加
繰出金 約1.6倍に増加

【考察】

- ・歳入は人口増加に伴い増え続けています。
- ・義務的経費が増加傾向となっています。特にこの内訳を見ると、扶助費が過去20年間で約3.4倍となっています。
- ・今後の課題として、老朽化する市有施設の維持費が増加してくると予想します。

●財政が厳しいということは…
歳入に対し、歳出に係る義務的経費が増加し、新たな施策事業に取り組めるお金が生み出せないことです！

★私たちが会派は、右記の提言に基づき、将来にわたり「夢と希望の持てる京田辺市」を市民の皆さんと一緒に取り組んでまいります。

【会派からの提言】

＜市民と一緒に歩む行政に向けて＞

- ・公と共から成り立つ、人同士の相互扶助をはじめ、公と共が一体となる社会を構築。
- ・子育てニーズの把握による、子育て世代への支援強化。（幼稚園の在り方検討）

＜歳出減に向けて＞

- ・公共施設マネジメントによる、民活・長寿寿命化による財政の均平化。
- ・フレイル予防の推進による、医療費軽減。

＜歳入増に向けて＞

- ・親子近住転入支援策「カムバック京田辺」による人口増加策。
- ・企業誘致活動の推進。

以上を柱に、取り組んでまいります。

片岡つとむ
kataokatsutomusa@gmail.com

お世話になります。まもなく議員活動が4年目を迎えるとしております。皆様からいただいた、さまざまなご意見やご要望をもとに活動しております。

昨年1年間は、定例会一般質問において、安全安心の観点から降雨量の増加に伴う排水困難解消に向けた取り組みや再生可能エネルギー（主に大規模太陽光発電）開発に伴う地域の安全に対する取り組み、水害ハザードマップの見直し、福祉の観点では、在宅介護にある人に対する訪問理美容サービス利用に関する市の対応、子育てにおける小規模保育事業に対する本市の対応状況と今後の施設整備の見直し、市民生活に関係する内容では、本市主催の講座や講演会のインターネット配信の取り組みなど、多岐にわたる質問を行いました。

新型コロナによる影響を踏まえつつ、今後訪れる人口減少においても、安全で安心「今も、これから先も、住みよいまち、住んで良かったと思える京田辺」の実現に向けて、皆様とともに取り組んでまいります。

河本たかし
tachidesu@gmail.com

昨年5月、議員の皆様からのご推薦により副議長を就任させていただき、議長を補佐し円滑かつ柔軟な対応を心掛けた議会運営の推進に精進しております。

1月初旬から見受けられたオミクロン株の感染が広がる中、皆様方には新型コロナウイルスの感染防止の取り組みにご協力いただき心より感謝申し上げます。

新たな取り組みが議会改革により始まっています。9月議会では、決算特別委員会での審議が、翌年度の当初予算へと反映できる仕組みづくりが可能となり、以前より早く事業の展開をはかれるように取り組みました。

12月議会では、以前から提言していた期日前投票所の設置拡大について改めて質問し、2か所目設置の検討に至りました。今後も、国民投票法を踏まえ共通投票所の設置に向け働きかけて参ります。

福祉・子育て、教育の充実を目指し、すべての年代の方が活力みなぎるまちの発展に向け、今後も市民の生命と暮らしを守るため、未来に責任ある政治を行って参ります。

菊川かずしげ
kyouta.kiku@gmail.com

皆さまには日頃よりご指導ご支援を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスにより従前は全く異なった社会生活が続いており、改めて「人と人のつながり」「何気なく気さくに話ができる」、このような日常を懐かしく思うとともに、コロナ禍で浮き彫りとなった、デジタル化の遅れやワクチン等が我が国で開発できえないという、基礎研究の遅れなどを憂っております。

私は常に「日々新たにそして日に新たに」の気持ちをもって毎日を過ごしており、改めて今「残すものは何か、守り続けるものは何か」そして「変えていくべきことは何か」を痛感しております。

議員活動の原点は市民の安全と安心をベースに、地域全体が発展できるようその推進役であるとともに、1人ひとりを支えていくことであります。今一度このことを肝に銘じ、市政に対する提言とチェック機能を充実すべく精進してまいります。

引き続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

ながた和也
knagata@nagata.kyoto

副委員長として所属していました広報編集特別委員会も、2021年には議会改革によって、広報広聴特別委員会として再編され、改めて副委員長を務めさせて頂いています。広報では新たに議会報告動画の配信が始まり、広聴では、商工会との意見交換会実施に携わり、今後も引き続き、報せて聴く、互いに伝わる議会になるよう努めます。

市内産業活性化に関して、農業では、農地保全の重要性を訴え、携わる農業従事者の収入安定化が耕作放棄地や荒廃農地問題の解消につながる、地産地消や農業支援について。またコロナ禍により疲弊する市内事業者へは、より実情に即した支援ができるように、市と協議してまいります。

天理山古墳群の用地取得に関しては、森林伐採による水害の懸念と、1600年の歴史を持つ史跡を後世に残していく必要性から、一般質問や討論にて保全に向け、賛成の立場で対応してきました。今後も、市民の皆様と安心して託して頂ける議員と会派であるよう心がけて活動して参ります。